

発言順序（令和８年第３回水戸市議会定例会）

	(代表質問)	(ページ)
1	後 藤 通 子 議 員（魁，水戸）・・・・・・・・・・	1
2	森 正 慶 議 員（公明党水戸市議会）・・・・・・・・	2
3	マーサー川又 議 員（政和維新）・・・・・・・・・・	3
4	藤 澤 康 彦 議 員（水戸みらい）・・・・・・・・・・	6
5	土 田 記代美 議 員（日本共産党水戸市議団）・・・	7
	(一般質問)	
1	中 庭 由美子 議 員（日本共産党水戸市議団）・・・	8
2	森 智世子 議 員（立憲みと）・・・・・・・・・・	9
3	細 谷 智 宏 議 員（魁，水戸）・・・・・・・・・・	10
4	渡 辺 欽 也 議 員（魁，水戸）・・・・・・・・・・	11
5	田 尻 由紀子 議 員（公明党水戸市議会）・・・・・・・・	13
6	黒 木 勇 議 員（公明党水戸市議会）・・・・・・・・	14
7	田 中 真 己 議 員（日本共産党水戸市議団）・・・	15
8	滑 川 友 理 議 員（立憲みと）・・・・・・・・・・	16
9	高 倉 富士男 議 員（公明党水戸市議会）・・・・・・・・	17
10	池 田 悠 紀 議 員（政和維新）・・・・・・・・・・	18
11	松 本 勝 久 議 員（自民党）・・・・・・・・・・	23
12	大 津 亮 一 議 員（水戸みらい）・・・・・・・・・・	24
13	萩 谷 慎 一 議 員（みと元気プロジェクト）・・・	25
14	打 越 美和子 議 員（水戸みらい）・・・・・・・・・・	26
15	須 田 浩 和 議 員（水政会）・・・・・・・・・・	27
16	安 藏 栄 議 員（政和維新）・・・・・・・・・・	29
17	綿 引 健 議 員（魁，水戸）・・・・・・・・・・	30
18	鬼 澤 真 寿 議 員（魁，水戸）・・・・・・・・・・	31
19	佐 藤 昭 雄 議 員（国民民主党みと）・・・・・・・・	33

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

代表質問 1 後藤 通子 議員（魁、水戸）

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 市長の政治姿勢について (1) 市長の今任期における公約とその成果について (2) 次期市長選への市長の思いと抱負について (3) いばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョンについて ア これまでの取組と実績、成果について イ 今後の取組について。来年度以降もいばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョンを継続するのか、政令指定都市を目指すのかについて。 (4) 本市の企業誘致について ア これまでの企業誘致に係る取組と実績について イ 今後の企業誘致について。さらなる企業誘致に向けた取組について。	市長	
2 下水道行政について (1) 下水道使用料改定の検討状況について	市長	
3 偕楽園周辺エリアの活性化と公園マネジメントについて (1) みと好文テラスの利用状況について ア 平日と土日祝日の利用状況について イ 市民の憩いの場としての利用及び千波湖西駐車場について ウ 千波湖、皿池の浄化について	市長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

代表質問 2 森 正慶 議員（公明党水戸市議会）

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 市長の政治姿勢について (1) 高橋市政 4 期目の市政運営における重点施策のうち、子育て支援、移住定住、企業誘致に対する成果と、今後の課題について (2) 人口減少社会における、本市の持続可能な将来都市像を見据えた、スマートシュリンク、スモールコンセッションに対する考え方について (3) 本市ならではの観光資源やスポーツの魅力を生かした観光振興策、DMO（観光地域づくり法人）の取組、宿泊税の導入について (4) 「こどもの権利条例」制定に向けた基本的な考え方とスケジュールについて (5) 若者の移住・定住促進における「奨学金返還支援制度」導入による若者支援の強化について (6) 防災・減災対策の強化について ア 大規模災害時の人的受援体制について イ 感震ブレーカー設置補助事業について	市 長	
2 教育行政について (1) デジタル教科書の正式導入に伴う本市の対応について (2) 学校における防火安全対策について	市長及び教育長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

代表質問 3 マーサー川又 議員（政和維新）

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 高橋市長の今後の方針について 高橋市長の市政運営、4 期目終盤に向かったの思い。さらには今後の水戸市発展の展望について。 (1) 水戸市の経済的発展と企業誘致について ア 人口減少社会における本市の持続的な経済発展に向けた企業誘致の位置づけと、今後誘致を目指す産業・企業について。企業用地、交通アクセス、人材確保、優遇制度等を含め、企業から「選ばれる都市」となるための環境整備について。 イ 国家事業や大型プロジェクト等の誘致を含め、これまでの延長線上にとどまらない新たな経済基盤づくりに向けた将来構想について ウ 副首都構想をはじめとした国の新たな政策・制度等を見据えた、本市及び県央地域の発展につながる事業への参画、誘致の可能性について エ 入札制度の現況と市内企業育成を踏まえた運用と考え方について	市長	
2 交通行政について (1) 未来の交通システム「Z i p p a r」の誘致・導入可能性について ア 人口減少、高齢化、公共交通の運転手不足等を踏まえた、本市における将来の公共交通の在り方の一つである次世代型交通システム「Z i p p a r」、この新たな交通システムに関する情報収集及び調査研究について。水戸駅、M i t o r i O 地区、偕楽園・千波湖周辺、大学、県庁方面等の主要拠点を結ぶ新たな交通ネットワークを構築することで低コスト、これからの移動の形ができる。この次世代型交通システムについて、事業者との意見交換や実証実	市長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

代表質問 3 マーサー川又 議員（政和維新）

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
験の誘致等を含めた、本市への導入可能性の調査研究について。 3 人口減少と子育て支援について (1) 第3子以降への大胆な支援策について ア 人口減少、少子化が進む中、子育て世代から「選ばれるまち」となるための本市独自の子育て支援策が必要。第3子以降の子育て世帯に対する給付金、補助制度等の大幅な拡充を含めた経済的支援、出生時から保育、教育等の成長段階に応じた継続的な支援制度を構築し、人口減少対策及び未来への投資として、「3人目を育てるなら水戸市」と評価されるような大胆な子育て支援策を実施する考えについて。 4 水戸光圀公生誕 400 年について (1) 「水戸光圀公ミュージアム」と恒久的な観光・インバウンド戦略について ア 令和 10 年（2028 年）の水戸光圀公生誕 400 年に向けた本市の基本的な考え方及び取組について、生誕 400 年を一過性の記念事業に終わらせず、将来の水戸に恒久的な財産を残す取組が必要。徳川光圀公の政治、学問、歴史、文化等の功績と、「水戸黄門」としての全国的な知名度を一体的に発信する「水戸光圀公ミュージアム」等の歴史文化拠点の整備について。 イ 水戸光圀公生誕 400 年を契機とした国内外への情報発信、インバウンド誘客を含む長期的な観光戦略について	市長 市長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

代表質問 3 マーサー川又 議員（政和維新）

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
5 ふるさと納税について (1) 「水戸黄門ふるさと寄附金」の現状とさらなる飛躍について ア 「水戸黄門ふるさと寄附金」における近年の寄附額及び寄附件数の推移と近年の寄附額増加の要因及び課題について イ 「水戸黄門」の全国的な知名度及び令和 10 年（2028 年）の水戸光圀公生誕 400 年を活用した、さらなる寄附額の増加策について	市 長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

代表質問 4 藤澤 康彦 議員（水戸みらい）

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 市長の政治姿勢について (1) 来春の次期市長選について	市 長	
2 本市における防災行政について (1) 市民の安全・安心を守る災害対策について ア ゲリラ豪雨、線状降水帯等の各地の災害を踏まえた災害対策について イ 雨水浸水被害対策について	市 長	
3 国の消費税減税に伴う影響について (1) 消費税減税の水戸市財政への影響及び対策について	市 長	
4 本市の地域区分の改定について (1) 国の地域区分の見直しによる本市の障害福祉サービスや介護サービスに関する報酬単価への影響について	市 長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

代表質問 5 土田 記代美 議員（日本共産党水戸市議団）

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 市長の政治姿勢について (1) 下水道料金について (2) 中心市街地への税金投入について (3) 都市計画道路の見直しと不明瞭な用地買収について (4) 原子力行政について ア 常陸大宮市の核のごみ最終処分場選定のための調査受入れについて イ 東海第二原発について (5) 防災対策について ア 防災倉庫について イ ペット防災について	市 長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 1 中庭 由美子 議員（日本共産党水戸市議団）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 こども行政について (1) 産後ケアの充実について	関 係 部 長	
2 障がい者行政について (1) 各種障がい者手帳のカード化について (2) 交通系 I C カード（P A S M O、S u i c a 等）乗車券運賃助成制度について	関 係 部 長	
3 労働行政について (1) 職員の労働環境改善について ア 窓口職員や警備員の椅子の活用について イ 目を守るサングラスについて	関 係 部 長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 2 森 智世子 議員（立憲みと）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 県央地区の持続的発展に向けた広域連携政策について (1) 連携中枢都市における広域連携の推進について ア 県央地域の持続的発展に向けた行政課題の共有と、水戸市の役割・リーダーシップについて イ これまでの広域連携の成果と課題を踏まえた、新たな連携の取組について	関係部長	
2 こどもの権利を尊重するまちづくり政策について (1) 水戸市におけるこども基本条例の制定に向けた取組について ア 条例制定に向けた現在の検討状況と今後のスケジュールについて イ 条例制定過程におけるこどもの意見表明と参画について ウ 条例制定後、その理念を具体化する政策と予算措置について	関係部長	
3 健康で快適な都市空間づくりに向けた政策について (1) 駅周辺における受動喫煙防止と快適な都市空間づくりについて ア 水戸駅・赤塚駅・内原駅等の喫煙環境の現状認識と、駅前広場条例に基づく指定喫煙所以外での喫煙禁止の実効性と市たばこ税を踏まえ、喫煙者と非喫煙者の共存に向けた対策について	関係部長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 3 細谷 智宏 議員（魁、水戸）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 農業行政について (1) 本市農業の未来を左右する極めて重大な課題 親元就農支援の現状分析と今後の具体的取組について ア 現状の分析について イ 未来を切り拓く今後の具体的な取組について	関 係 部 長	
2 福祉行政について (1) 孤立と複合課題から市民の命と暮らしを守る支援体制の構築について ア 高齢者世帯と中高年の引きこもりが複合する「8050 問題」 誰にも頼れず静かに孤立する家庭の潜在的かつ深刻なリスクについて イ 介護負担と孤立の連鎖を断ち切るための支援体制について ウ 誰も取り残さない「重層的支援体制整備事業」の推進と、 命を守るセーフティネットの強化について	関 係 部 長	
3 昼間人口に着目した行政について (1) 昼間人口を踏まえたまちづくりについて ア 総合計画及び各分野施策における位置づけについて イ 経済・交通施策等における滞在・流入人口に着目した具体策について ウ 防災・行政サービスにおける観光客等・昼間来訪者の受入れ及び情報発信体制について	関 係 部 長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 4 渡辺 欽也 議員（魁、水戸）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 公共交通機関の確保及び維持について (1) 車に頼らず安全で手軽に移動できる環境について 「みとちやり」の利用実態、観光利用と市民利用の位置づけ、実証事業終了後の方向性並びに歩道、自転車通行空間及び新たな移動手段の整備について (2) 交通空白地域における移動手段の確保について バス路線維持に対する支援効果、下江戸線廃止後の代替交通、既存制度で対応できない地域及び市民の把握並びに公共ライドシェアのモデル実証について (3) 運転手不足を見据えた新たな公共交通について 自動運転バスの導入及び実証実験に関する民間企業等からの提案状況並びに関係機関と連携した実証実験の実施について	関 係 部 長	
2 ふるさと納税制度の現状と「水戸のファンづくり」について (1) 制度本来の理念と現状に対する本市の認識について ア 返礼品競争や募集経費の増大など、制度本来の理念とのずれについて イ 水戸市民の寄附による市民税の市外流出と本市の減収について (2) ふるさと納税を通じた「水戸のファンづくり」について ア 干し芋や水戸納豆をはじめとする返礼品の魅力、産品の背景及び生産者の思いの発信について イ 寄附者に対する継続的な情報発信及び関係づくりについて ウ 再寄附率の把握及び成果指標としての活用について (3) 担当職員の配置と庁内横断的な推進体制について ア 職員増員を踏まえた「水戸のファンづくり」に向けた新たな取組について	関 係 部 長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 4 渡辺 欽也 議員（魁、水戸）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
イ 産業、観光、広報、政策企画等の関係部署による役割分担及び庁内横断的な推進体制について 3 文化行政について (1) 童謡文化の継承について ア 童謡の文化的・教育的価値に対する本市の認識及び「童謡伝承を考える水戸市民会」から提出された要望書への対応状況について イ 水戸芸術館や水戸室内管弦楽団などの既存の教育・文化事業を生かし、子どもたちが野口雨情とその作品を「知る・伝える・つなぐ」機会を継続的に設けることについて	関 係 部 長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 5 田尻 由紀子 議員（公明党水戸市議会）

【一括方式】・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 市民生活の安全について (1) 倒木等による被害防止に向けた樹木の維持管理について ア 街路樹の維持管理について イ 公園における樹木の維持管理について ウ 学校樹木の安全管理について	関 係 部 長	
2 こども行政について (1) 子育て支援・多世代交流センターの充実について ア 既存の子育て支援施設の利用促進と魅力向上について イ 民間活力の活用と子育て・体験拠点の在り方について	関 係 部 長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 6 黒木 勇 議員（公明党水戸市議会）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 若い世代の移住・定住加速化に向けた取組について (1) 移住相談窓口の充実と移住後における伴走型フォローアップ体制の強化について (2) 移住者の定着に向けた起業・創業及び就職支援施策の強化について	関 係 部 長	
2 一般廃棄物最終処分場について (1) 第一最終処分場及び第二最終処分場の浸出水処理設備の老朽化対策と今後の維持管理方針について (2) 第二最終処分場跡地における公園整備事業の進捗状況と今後のスケジュールについて	関 係 部 長	
3 船中泊に代わる体験学習について (1) 船中泊を伴う自然教室に代わる新たな体験学習の準備・実施状況について	関 係 部 長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 7 田中 真己 議員（日本共産党水戸市議団）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 道路行政について (1) 都市計画道路 3・3・2 号中大野中河内線（見川東工区）の道路用地買収問題について ア 2021 年度（令和 3 年度）の用地買収の概要（土地 4,965 万 9,728 円、損失補償 2,355 万 4,300 円、合計 7,321 万 4,028 円）について イ 事業認可前の先行買収について（公有地の拡大の推進に関する法律の規定等について） ウ 契約前の伐採を遡及して補償したことについて（国土交通省の損失補償基準について） エ 航空写真、地上写真等で杉が確認できないが、杉 190 本（樹高 15m、直径 36 c m、幹回り 110 c m）と推定した根拠について オ 不動産評価審査会の審査について カ 土地の引渡しについて キ 不当な税金支出の返還請求について	関係部長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 8 滑川 友理 議員（立憲みと）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 介護保険行政について (1) 本市の介護認定審査会の委員構成における、介護福祉士の登用状況について ア 委員構成の現状について イ 介護福祉士の必要性について	関 係 部 長	
2 災害対応に当たる市職員の手当について (1) 災害応急作業等手当の認識や本市の現状及び制度導入の必要性について	関 係 部 長	
3 こども政策行政について (1) 放課後学級の利用料金見直し及び減免対象世帯の拡充について ア 保護者負担金の現状と他市比較について イ 多子世帯への減免対象拡充の可否について	関 係 部 長	
4 下水道行政について (1) 下水道管路における全国特別重点調査の概要と結果について (2) 調査結果を受けての対応状況について (3) 調査対象以外の老朽管への対応について	関 係 部 長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 9 高倉 富士男 議員（公明党水戸市議会）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 福祉行政について (1) 水戸市立開江老人ホーム廃止後の施設の利活用について ア 開江老人ホームのこれまでの役割に対する評価と廃止に至った経緯について イ 廃止後の施設及び跡地の利活用に関する現在の検討状況について ウ 地域・民間のアイデアを生かした利活用の検討について エ 利活用方策の早期の方針決定について	関 係 部 長	
2 保健医療行政について (1) がん対策の推進について ア がん予防及びがん検診の受診率向上について イ がんサバイバーシップ支援について ウ がん患者の社会参加及び生活を支える支援について エ A Y A 世代・小児がん経験者への支援について オ 今後のがん対策の充実について	関 係 部 長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 10 池田 悠紀 議員（政和維新）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 郷土教育と校外学習の充実について 令和 6 年第 4 回定例会において、弘道館や偕楽園など、歴史的・文化的資源を生かした校外学習の充実について質問した。 本市からは、「本市の歴史を学ぶ上で絶好の教材」との答弁があった一方、実際に校外学習を実施している学校は半数に満たない状況であることも明らかとなった。また、学校行事や社会科見学に弘道館や偕楽園等を組み込むことができるようモデルコースを作成し、学校の取組を促すとの答弁があった。 そこで、以下について伺う。 (1) 市立小中学校のうち、弘道館、偕楽園を校外学習として訪問した学校数、学年、児童生徒数は、令和 6 年度当時の「半数に満たない」との状況から、どの程度改善したのか。 (2) 市立小中学校の児童生徒のうち、義務教育 9 年間を通じ、学校教育として弘道館または偕楽園を一度も訪問しない児童生徒が生じ得る現状をどのように認識しているか。 (3) 芸術鑑賞については特定の学年の全児童生徒に複数回体験の機会を保障している一方、本市が「実際に訪れてこそ水戸の歴史を体感できる」としている弘道館や偕楽園については、各学校の判断に委ねられている。この違いはどのような考え方によるものか。また、教育活動を全校共通で実施するか各学校の裁量に委ねるかについて、教育委員会としてどのような基準で判断しているのか。 (4) 少なくとも市立学校の全児童生徒が義務教育課程を修了するまでに一度は、学校教育として弘道館及び偕楽園を訪問し、水戸の歴史と教育思想を実地で学ぶ機会を保障する仕組みを構築すべきと考えるが、見解を伺う。	関 係 部 長	
2 事務事業評価の導入について 本市では、平成 14 年度から令和元年度まで行政評価を実施していたが、令和 2 年度の中核市移行に伴う包括外部監査制度の	関 係 部 長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 10 池田 悠紀 議員（政和維新）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
導入を理由に、現在は休止している。しかし、包括外部監査は毎年度選定された特定のテーマを対象とするものであり、全ての事務事業について、目的、総コスト、成果指標、目標値及び実績値を継続的に検証する仕組みではない。 一方、つくば市では 889 事業について事務事業評価を実施し、事業の改善や見直し、予算編成に活用している。また、川西市では、事業の目的、成果指標、目標値、実績値、財源及び人件費等を記載した決算成果報告書を作成し、決算と事業評価を一体化している。 本市も令和 8 年 3 月議会において、「施策、事業ごとに成果指標を定め、その達成度によって評価することは有益であり、効果的な評価手法の導入に向けて、関係部署間で協議しながら検討を進める」と答弁を受けた。 そこで、以下について伺う。 (1) 令和 8 年 3 月議会の答弁以降、いつ、どの部署で、どのような協議を行い、現在どこまで検討が進んでいるのか。 (2) 事務事業評価という名称や新たな制度の創設にこだわらず、現在の各会計決算報告書に、成果指標、目標値、実績値、総コスト及び今後の方向性を追加し、決算審査及び翌年度の予算編成に活用する仕組みを導入する考えはあるか。そしていつまでに実行するのか。 3 市民センターにおける政治利用について 本市のホームページには、市民センターについて「営利・政治・宗教を目的とした使用はできません」と記載されている。一方、文部科学省は、公民館を政党や政治家に利用させることを一般的に禁止するものではないとの見解を示している。 北九州市では、市議会議員による市政報告や市民との意見交換、政党内部の会議や報告会等について、市民センターの使用を認めている。	関係部長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 10 池田 悠紀 議員（政和維新）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
そこで、以下について伺う。 (1) 選挙期間外に、投票依頼や党员募集などを行わず、議員や政党・政治団体が市政について説明し、市民の意見を聴く市政報告会を開催する場合でも、本市では市民センターを使用できないのか。 (2) 北九州市の「市民センターにおける政治活動について」のような、政治活動に関する市民センター利用基準の明文化を図っていただきたいと考えるが、いかがか。 4 （仮称）南部図書館の整備方針について 先日開催された「みとっこ未来市民懇談会」において、保護者から「市内の子どもの遊び場は未就学児を対象としたものが多く、年齢の異なる兄弟を一緒に連れて行って遊ばせることが難しい」との声があった。 （仮称）南部図書館について、図書館機能を施設の中心に据えることを前提とするのではなく、乳幼児から小学生まで、年齢の異なる兄弟も一緒に利用できる屋内型の遊び場や、子育て支援、学習、交流等の機能を中心とし、図書館機能をその一部として位置づける施設へと整備方針を転換する考えはないか。見解を伺う。 5 子どものボール遊びの場の確保と校庭開放について 近年、公園においてボール遊びが制限される一方、子どもたちが自由にサッカーやキャッチボールなどを楽しめる広い場所は限られている。 寝屋川市では令和 7 年度から、全 23 市立小学校の校庭を「公園」として捉え、平日の放課後や長期休業期間に、ボール遊びのできる「ねやがわスクールパーク」として開放している。 そこで、以下について伺う。	関 係 部 長 関 係 部 長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 10 池田 悠紀 議員（政和維新）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
(1) 本市において、子どもがサッカーやキャッチボールなどのボール遊びを自由にできる公園は現在何か所あり、地域的な偏りをどのように認識しているか。 (2) 今後、ボール遊びのできる公園を何か所まで増やす方針なのか。また、1 か所当たりの整備費及び維持管理費を含め、今後必要となる総事業費をどのように見込んでいるか。 (3) 寝屋川市や茨木市のように、学校教育時間外の利用を学校教育活動から切り離し、教職員や学校に管理責任や見守りの負担を負わせない運用について、本市でも導入できないか。まずは数校をモデル校として、検証すべきと考えるがいかがか。 6 日本語指導を必要とする児童生徒への対応について 外国人市民の増加に伴い、日本語指導を必要とする児童生徒が増加している。日本語を十分に理解できない児童生徒が、必要な指導を受けられる環境を整えることは重要である。 一方、その対応が学級担任や教科担任に委ねられれば、既に多忙な教職員の負担をさらに増加させるとともに、学級全体の授業進行や、他の児童生徒に向き合う時間にも影響を及ぼすおそれがある。 そこで、以下について伺う。 (1) 現在、市立小中学校及び義務教育学校に在籍する外国籍の児童生徒数並びに日本語指導を必要とする児童生徒数を、学校種別、国籍・母語別に近年の傾向を伺う。 (2) 本市が配置する日本語指導員は、児童生徒数 1 人当たりになどどのような支援を施しているのか。 (3) 日本語をほとんど理解できない児童生徒を受け入れた場合、学級担任及び教科担任には、どのような業務が生じているのか。また、その業務量や時間を調査しているのか伺う。	関 係 部 長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 10 池田 悠紀 議員（政和維新）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
(4) 外国人児童生徒への対応について、学校現場からどのような意見や課題が寄せられているのか。 (5) 本市の日本語指導に係る過去 5 年間の事業費について、国費、県費、市費及び一般財源の内訳を伺う。 (6) 外国人児童生徒が今後さらに増加した場合、必要となる日本語指導員数及び事業費をどのように見込んでいるか。対象者の増加に応じて市費による指導員の増員を続ける方針なのか。 (7) 家庭における日本語学習や学校外の日本語教室の利用などについて、保護者にどのような協力を求めているのか。		

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 11 松本 勝久 議員（自民党）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 水戸市における未利用財産の状況について (1) 水戸市には未利用財産、遊休財産はどのくらいあるのか。 その活用方針はどのようになっているのか。 (2) 利用が少ない公共施設の用途を廃止、財産を処分し、市の財政に貢献する考え方について	関 係 部 長	
2 東野市民運動場と西谷津広場の利用は。 (1) 西谷津広場の利用状況と今後の計画は。 (2) 東野市民運動場の利用状況は。 (3) 東野市民運動場と西谷津広場はわずか 100m の差であるが、今後の見通しは。 (4) 東野市民運動場に道の駅または企業誘致は。	関 係 部 長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 12 大津 亮一 議員（水戸みらい）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 安心安全なまちづくりについて (1) 市内の防犯カメラの設置台数・設置場所はどうなっているか。 (2) 防犯カメラの設置場所について 犯罪発生状況や通学路における危険箇所等を踏まえた設置基準や優先順位について (3) 防犯カメラの設置効果を、検挙件数や提供実績等を踏まえて検証しているか。	関 係 部 長	
2 下水道行政について (1) 未整備区域である開江地区の今後について	関 係 部 長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 13 萩谷 慎一 議員（みと元気プロジェクト）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 災害に強い地域づくりについて (1) 町内会加入の有無を超えた地域防災の仕組みについて (2) 避難所の生活環境について (3) 集中豪雨による内水浸水対策について	関 係 部 長	
2 市民センターにおける窓口業務等の改善について (1) 市民センター条例の改正に伴う窓口業務等について (2) 業務実態を把握した窓口業務体制の在り方について (3) 予約システムの利用が困難な利用者への支援について	関 係 部 長	
3 放課後学級の質の向上と地域協働型運営について (1) プロポーザル方式導入後の検証について (2) 支援員の配置状況について (3) 水戸方式の地域協働型放課後学級について	関 係 部 長	
4 水戸市民会館を核としたM i t o r i O周辺の活性化について (1) 市民会館来館者の実態把握について (2) M i t o r i O周辺への回遊促進と効果の見える化について (3) 市民・若者が参加するエリアマネジメントの仕組みについて	関 係 部 長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 14 打越 美和子 議員（水戸みらい）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 地域コミュニティの維持と次世代育成について (1) 自治会加入率の低下への対応と自治会加入促進に向けた今後の具体的な取組について (2) 民間活力を活用した新たな取組について	関 係 部 長	
2 高齢者が地域で安心して暮らし続けるための支援について (1) 身寄りのない高齢者支援について	関 係 部 長	
3 水戸芸術館の現代美術部門の取組について (1) 高校生ウィークについて (2) 子どもの鑑賞プログラム事業や地域へ開く活動について	関 係 部 長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 15 須田 浩和 議員（水政会）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 将来に向けた水戸市の持続的発展策としての広域合併と市民所得の向上策について (1) 人口が減少していく中、水戸市の持続的発展を考える上では、合併による自治体規模の拡大と行政基盤の強化を進めることが重要です。また、市民一人当たりの所得を向上させることで、市民の暮らしにゆとりが生まれ、消費の拡大や地域経済の活性化、さらには税収の増加にもつながります。 私は、こうした取組を進めることで、将来にわたって持続可能な水戸市を実現していくことができると考えますが、水戸市として、これからの人口減少社会を見据え、合併による自治体規模の拡大や市民一人当たりの所得向上に対する考え方を含め、持続的な発展を実現するために、そのほかにもどのような施策や考えを持っているのか、市の見解を伺います。	関 係 部 長	
2 正確な広報のための施策について (1) 私たちを取り巻くインターネット検索の環境は、今、大きく変化しています。これまで、インターネットで情報を検索する際には、検索エンジンを利用し、表示されたウェブサイトから必要な情報を探すことが一般的でした。しかし現在では、グーグルにおいても生成 A I であるジェミニによる回答が検索結果の上位に表示されるなど、生成 A I を活用して情報を得る機会が急速に増えています。 また、検索エンジンを利用するだけでなく、チャット G P T やジェミニなどの生成 A I に直接質問をし、必要な情報を得るといった新しい情報収集の方法も広がっています。一方で、生成 A I は決して万能なものではありません。質問に対して見当違いの回答をしたり、事実とは異なる情報を回答したりする場合があります。	関 係 部 長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 15 須田 浩和 議員（水政会）

【一括方式】・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
特に、P D F などの文書資料については、単に文章を読み取るだけではなく、表や図、画像、ページのレイアウトなど、資料全体の構成を正確に把握する必要があります。そのため、資料の形式によっては、生成 A I が内容を正確に読み取れない場合があります。 さらに、水戸市のように地域に特化した情報については、全国的な情報と比較してインターネット上に存在する情報量が限られています。その一方で、自治体が公開する各種計画や統計資料、行政情報などは P D F 形式で公開されているものも多くあります。 こうした状況を踏まえると、市民が生成 A I を利用して水戸市の情報を検索した際に、必要な情報が正確に伝わらない、あるいは誤った情報が提供される可能性についても、行政として考えていく必要があるのではないのでしょうか。 そこで伺います。 今後、生成 A I による情報検索がさらに普及していくことを踏まえ、水戸市として、市が保有・公開している情報を生成 A I がより正確に読み取り、市民に適切な情報が提供されるよう、P D F 中心の情報発信の在り方を含め、情報の公開・提供方法を見直していく必要があると考えますがいかがでしょうか。		

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 16 安藏 栄 議員（政和維新）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 都市計画行政について (1) 内原駅南広場建築の積算等の検証について ア 都市再生整備事業内原駅周辺整備（第 2 期）について イ 駅南シェルター事業について (ア) 設計・積算について (イ) 入札の経緯について (ウ) 今後の工事の発注について ウ 駅南広場整備の全体スケジュールについて (2) 内原交差点の改善策と横断歩道設置について (3) 県立中央病院移転に伴う内原駅周辺の環境整備について	副市長及び 関係部長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 17 綿引 健 議員（魁、水戸）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 教育行政について (1) 授業時における A I の利活用の現状について (2) 校務における A I の利活用の現状について (3) 教員研修における A I の利活用の現状について (4) 教職員の現場における A I の運用ルールについて (5) 児童・生徒へのリテラシー教育について (6) 第 7 次総合計画に基づく方針や水戸スタイルの教育との整合性について	関 係 部 長	
2 納豆の消費拡大について (1) 消費拡大に向けた本市の施策の現状について (2) 製造業者等への支援について	関 係 部 長	
3 豪雨災害が予測される場合の車両自体の事前避難について (1) 市所有施設への車両自体の事前避難について (2) 市所有施設以外への車両自体の事前避難に関する本市の考え方について	関 係 部 長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 18 鬼澤 真寿 議員（魁、水戸）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 本市の持続可能な発展に向けた企業誘致戦略について (1) 開発適地の確保を目的とする「産業系エリア指定制度」及び「企業誘致適地登録制度」の実効性について ア 「産業系エリア指定制度」のこれまでの指定実績及び本制度を活用して具体的に計画が進んでいる立地案件の進捗状況を伺う。 イ 本制度の規制緩和や地権者の合意形成、手続の高速化など、指定までの期間短縮と柔軟な運用に向けた制度改正を提案するが、見解を伺う。 ウ 「企業誘致適地登録制度」における現在の土地登録件数及び企業立地につながった成約実績について伺う。 エ ホームページ掲載や情報提供にとどまらない「一元的な仲介・相談サポート体制」の導入を提案するが、見解を伺う。 (2) 企業立地を支える周辺インフラ整備の計画的推進について ア エリア指定区域や誘致適地候補エリアにおけるアクセス道路の整備状況や上下水道等の容量確保に関する現状の課題認識について伺う。 イ 企業立地から事業開始までのタイムラグをなくすための先行的なインフラ整備やインフラ整備補助の拡充など、市が率先して計画的にインフラ投資を進めていくことを提案するが、見解を伺う。 (3) 立地ニーズに応じたターゲット戦略と攻めのプロモーションについて ア 制度ごとに確保される土地の規模やアクセス条件に応じて、本市としてどのような産業・業種をターゲットとして定めているのか、伺う。 イ 本市では企業を誘致する上で、優遇制度等も導入しているが、これらを武器に市自らが足を運んでのセールス、	関 係 部 長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 18 鬼澤 真寿 議員（魁、水戸）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
また民間人材・民間マッチング事業者と連携した攻めのプロモーションを提案するが、見解を伺う。 2 産後ケア事業の拡充と利用利便性の向上について (1) 本市における産後ケアの受入れ状況と訪問型ケアについて ア 委託医療機関や助産院における現在の受入れ状況について伺う。 イ 受けたくても受けられない状況を改善するために、訪問型ケアの委託先を増やし、自宅でも受けられる体制を拡充していくことを提案するが、見解を伺う。 (2) 産後ケアの周知と申請手続について ア 現時点での周知方法及び申請手続の状況を伺う。 イ その制度自体を早くから周知するために、母子健康手帳交付時の個別周知、妊婦教室等での案内、退院前アプローチの徹底、乳児健康診査での拾い上げなど、各医療機関や専門家と連携した周知を提案するが、見解を伺う。 ウ 申請者負担を軽減するために、市公式LINEやウェブを活用したオンライン予約・申請システムの導入、妊娠期の面談データ等を活用した「事前登録制」の導入等を提案するが、見解を伺う。 (3) 産後ケアを受けるに当たっての利用料について ア 現在の申請者負担額について伺う。 イ 経済的な負担を軽減するために、初回の利用料無料化やワンコイン化、多胎児家庭やハイリスク家庭に対する利用上限現日数の引上げなど、さらなる支援制度の拡充を提案するが、見解を伺う。	関 係 部 長	

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 19 佐藤 昭雄 議員（国民民主党みと）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 災害対策について (1) 災害時の避難先 ア 避難先の種類と安全性について (2) 災害時の情報発信 ア 情報発信の現状について イ 防災気象情報の理解促進について ウ 早期避難を促すための対応について (3) 避難所の開設・運営 ア 初動体制について イ 地域住民との連携について ウ 環境整備について エ 停電時の対応体制について オ E V 車両等の非常用電源の活用について (4) 受援体制 ア 支援物資の受入れに関する現状について	関 係 部 長	
2 災害から市民を守る道路環境整備について (1) 本市が管理する道路の現状 (2) 災害リスク箇所の把握と対応状況 ア 水害・冠水リスク箇所の把握状況について イ リスク箇所におけるハード面の対応状況について ウ ソフト対策による情報発信について (3) 道路維持管理の課題と対応 ア 側溝や雨水桝等の対応について イ 道路維持管理上の課題について ウ 持続可能な道路維持に向けた本市の取組について	関 係 部 長	